

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研究テーマ	静岡県のニーズにあった異分野融合教育・研究の推進による人材育成プログラムの構築					
研究組織	代 表 者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也
	協力者 所属・職名	氏名	協力者 所属・職名	氏名	協力者 所属・職名	氏名
	食品栄養科学部・教授	三浦 進司	薬学部・特任教授	賀川 義之	静岡県立病院機構・理事長	田中 一成
	食品栄養科学部・教授	新井 英一	薬学部・教授	眞鍋 敬	県立総合病院・院長代理	井上 達秀
	食品栄養科学部・教授	市川 陽子	薬学部・教授	黒川 洵子	県立総合病院・顧問	菅原 照
	食品栄養科学部・助教	大槻 尚子	薬学部・教授	内田 信也	県立総合病院・副院長	吉村 耕治
	食品栄養科学部・助教	川上 由香	薬学部・特任教授	森 潔	県立総合病院・看護師長	松浦 加恵
	看護学部・教授	富安 眞理	薬学部・准教授	内野 智信	県立総合病院・看護師・救急救命士	長島 尚子
	看護学部・教授	畑中 純子	薬学部・准教授	井上 和幸	静岡済生会総合病院・院長	岡本 好史
	看護学部・教授	井上 健一郎	薬学部・講師	辻 大樹	静岡リハビリテーション病院・名誉院長	神原 啓文
	看護学部・准教授	永谷 実穂	薬学部・講師	伊藤 由彦	静岡リハビリテーション病院・院長	高木 正和
	看護学部・講師	前野 真由美	薬学部・講師	刀坂 泰史	静岡リハビリテーション病院・言語聴覚士	大野 直也
	看護学部・助教	三崎 健太郎	薬学部・講師	砂川 陽一	静岡県健康福祉部・部長	青山 秀徳
	看護学部・助教	伊藤 純子	薬学部・講師	横山 匡	静岡県健康福祉部地域医療課・課長	村松 哲也
	看護学部・助教	森 洋子	薬学部・助教	谷澤 康玄	静岡市地域包括ケア推進本部・次長	繁田 昌宏
	看護学部・助教	栗田 真由美	薬学部・助教	清水 聡史	静岡県看護協会・会長	松本 志保子
	国際関係学部・教授	高畑 幸	薬学部・助教	児玉 昌美	静岡県薬剤師会・会長	岡田 国一
	経営情報学部・教授	湯瀬 裕昭	京都大学医学部・特任教授	高橋 裕子	静岡県医師会・会長	加陽 直実
	経営情報学部・教授	東野 定律	大阪商業大学・教授	東山 明子	静岡大学教育学部・教授	小林 朋子
	経営情報学部・准教授	木村 綾	静岡市総務局職員厚生課・産業医	加治 正行	静岡県地震防災センター・所長	金嶋 千明
	グローバル地域センター・特任教授	楠城 一嘉	静岡市消防局・消防次長	秋山 知	静岡県介護福祉士会・会長	水野 公智
	短期大学部・教授	野口 有紀	名城大学薬学部・准教授	黒羽子 孝太	静岡済生会総合病院・医療相談室長	岩崎 圭介
	短期大学部・准教授	江原 勝幸	順天堂大学薬学部・教授	南 彰	清水福祉事務所高齢介護課・主幹	佐藤 淳子
	健康支援センター	加治 由記	帝京大学薬学部・教授	柏倉 康治	静岡県教育委員会・元教育長	木苗 直秀
	浜松医科大学・教授	吉野 篤人	国際医療福祉大学 薬学部・教授	坂本 多穂	静岡県立大学・元学長	尾池 和夫
	京都医療センター・部長	長谷川 浩二				
	発 表 者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也

講演題目
静岡県のニーズにあった異分野融合教育・研究の推進による人材育成プログラムの構築
研究の目的、成果及び今後の展望 本研究の目的は、各学部での縦割り教育だけでなく、 横断的な交流を持たせる文理融合教育システムを確立し、多職種連携を円滑に行い、個々の患者さんにあったケアができる人材の育成にも努め、中期計画の「全学的な重点課題」の達成に寄与 することである。 ①多職種連携や多職種協働を目的とした教育カリキュラムの構築 演習内容を充実させ、多職種連携の理解を深めるために、カリキュラムを発展させた。 ②救命救急に対応できる人材育成プログラムの開発 アメリカ心臓協会（AHA）認定の「AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース」「ハートセイバーコース」を開講し、 世界に通用する医療者レベルの心肺蘇生技術の認定資格 を取得する学生数を増やし、現場で役立つ医療人を育成した。さらに、 静岡市の中高生、老人施設等の職員を対象とした「AED講習会」コースの開講数を増やし 、指導技術の研鑽と蓄積を行うだけでなく、地域住民への普及を行った。 ③災害に対する知識と技能を高める活動をサポートする教育システムの確立 住民を対象とした学生主体の「HUG講習会」を開講し、指導技術の研鑽と蓄積を行った。 ④住民の健康を啓発する活動をサポートする教育プログラムの確立 静岡県や静岡市との共催により開催している、 市民公開講座、健康フェアに参画し 、地域貢献を行うだけでなく、学生を参加させ、地域包括ケアに必要な知識と技能を実際に学習する機会を提供した。 ⑤受動喫煙の無い生活環境意識を高める活動をサポートする教育プログラムの開発 ⑥静岡型地域包括ケアで活躍する人材の育成のための卒後教育 多職種連携研修会を開催し、この研修会の企画・運営には、大学の学生教育を参考にし、大学の教育資源を活用した。さらには、学生も討論に参加することによりアドバンス教育となった。